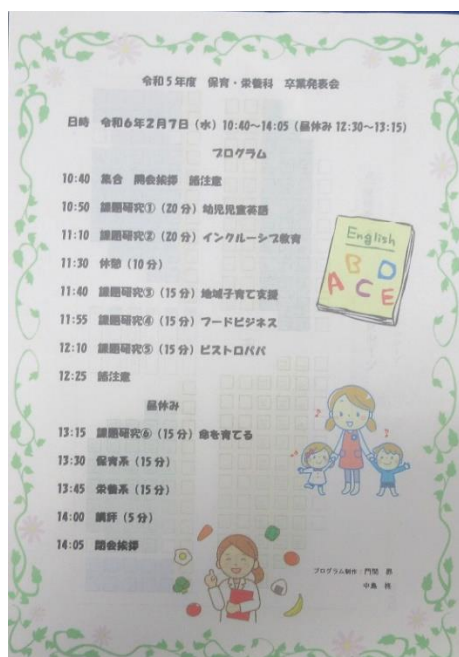


都立赤羽北桜高校の一期生が卒業します



令和3年4月に開校した都立赤羽北桜高等学校は、家庭学科、福祉学科、二つの学科を兼ね備えた初めての都立高校です。家庭学科には、幼児教育・保育系や栄養・健康系の上級学校への進学を目指す保育・栄養科と卒業と同時に調理師の資格の取れる調理科を、福祉学科には、介護福祉士国家試験受験資格を得ることができる介護福祉科を設置しています。いずれの学科においても、家庭・福祉分野のエキスパートとして社会で貢献出来る人材を育てるための様々な教育活動を進めており、今春、一期生の卒業を迎えることとなりました。このたび、保育・栄養科の「卒業発表会」と調理科の「卒業制作展」を参観しましたので、紹介いたします。

●保育・栄養科「卒業発表会」 令和6年2月7日（水）



実演を交えた素晴らしいプレゼンテーションや廊下に溢れた生徒たちの作品から、学校と一緒に創ってきたという一期生の自信と誇りを強く感じました。また、産業界や上級学校、地域と連携して探究的で体験的な学びをしてきたことが伝わってきました。

●調理科「卒業制作展」 令和6年2月8日（木）



赤羽北桜高校調理科の専門性の高さを感じる見事な卒業制作展でした。様々なとてもおいしい料理を提供し、生徒が立派に接遇できたことは、とても素晴らしいことだと感心しました。来場された保護者や家族の方たちが喜んでいる姿が、それを物語っていました。

佐藤幸司校長先生をはじめ同校の先生方には、新しい学校を立ち上げ、立派な一期生を指導されたことに敬意を表します。そして、一期生の皆さんのご活躍を心から祈念いたします。

